

## セーフティー・フェスタ2024 横田のリスクマネジメントを強化 *Safety Fest 2024 emphasizes risk management at Yokota*

April 15, 2024

By Staff Sgt. Spencer Tobler  
374th Airlift Wing Public Affairs

第374空輸航空団は3月28日、警視庁と福生消防署の協力を得て「セーフティー・フェスタ2024」を横田基地で開催した。

セーフティー・フェスタは、体験型訓練や各種の実演、講習を通じて横田基地のメンバーのリスクマネジメントの醸成を図るものである。

第374空輸航空団安全部部長ニック・リーブス少佐は、「このイベントは、米国、日本のカウンターパート、地元の緊急通報受理機関の協力体制のあり方を表している。横田基地のメンバーと地域社会の安全意識と備えを強化するために連携して取り組んでいる」と説明した。

今回のイベントでは、第374空輸航空団が毎年行っている自動二輪プレシーズン講習会も同時開催された。この講習会は、自動二輪の所有者に義務づけられており、走行中の事故を防ぐための安全運転指導を行うものである。

横田消防署、東京消防庁、警視庁は、VR防災体験車、起震車、煙体験ハウス、シートベルト効果体験車、展示消防車を派遣し、来場者が体験できるコーナーを設けた。また交通事故を再現する実演も行われ、来場者たちは通勤時に日本の交通ルールを遵守することの大切さを学んだ。

リーブス少佐は、「皆がインタラクティブな体験訓練を通じて、安全を確保する使命感を醸成することを目指している」と述べ、また「セーフティー・フェスタは、コミュニティ全体で安全意識を高め、安全対策を日常生活に取り入れることを目的としている」と語った。

セーフティー・フェスタ2024では、第374空輸航空団が取り組む、日本の社会の良き隣人であること、相互理解を育むこと、日米間の長年の友好関係を深めることに重点が置かれた。

